

自己評価結果公表シート（令和2年度）

学校法人育保学園 バンビーニくまのだ

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるような環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・保育者の資質の向上
- ・保育環境の充実
- ・感染症対策

4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○保育者の資質の向上 ・日々の子ども達の姿から職員同士が気づきを伝え合い、子どもへの理解を深める ・自己や自園を振り返り課題を見つける ・様々な分野の研修に参加する	・一人ひとりの子どもについて、毎日の保育の中でどのような姿が見られるのかをミーティングや職員会議等で話し合う事で、多角的に子どもを捉える事ができた。そうする事によって、園全体で一人の子どもについて共通の認識を持ち、関わっていく事ができ、その後の子どもの変化や成長について様々な面から気づけるようになった。 ・子どもの成長や変化だけでなく、課題や懸念事項等に対する対応を日々伝え合う事でどのようなねらいを持って関わっていくべきかの理解を深めていった。 ・自己チェックリストを元に学期毎に職員一人ひとりが目標を決め、自身の保育に対して日々反省や改善を行ってきた。今後も継続していきたい。 ・自園の保育について、現状の環境・状況でできる事を職員会議等で話し合い、保育に取り入れる事ができたので、今後も継続していきたい。 ・オンライン研修の情報を職員に提供し、積極的に受講できるようにした。ただ、研修の報告について紙面だけの事が多く、全員で共有する機会が少なかったため、職員会議やミーティング等を含め、共通理解ができる機会を増やしたい。
○保育環境の充実 ・子ども達が主体的、継続的に遊びを楽しめるような環境を整える ・日々、遊びの中で様々な運動遊びを取り入れる事で継続して体を動かせる環境を整える	・戸外遊びについて、ままごとやサーキット、電車遊びや遊具での遊び等、様々な環境を整える事で子ども自身が遊びを選択し、主体的に遊ぶ姿が増えた。また、週替わりで環境を変えていき、子ども達の遊ぶ様子を日々伝え合い継続的に見直しや改善をしていく事で飽きずに遊び込む事ができていた。 ・室内環境の中に体を動かせるコーナーを作る事で、毎日様々な運動遊びができていた。また、遊ぶ様子や体の発達に合わせて危険箇所や改善点を話し合い、環境を整えるようにした。
○感染症対策 ・新型コロナウイルス感染防止対策の実施	・玩具や施設の消毒チェックリストを作る事により全職員が意識し、日々感染対策に取り組む事ができていた。また、子ども達の生活に関わる室内環境も話し合い、改善してきた。今後しばらくは同様の状況が続く為、継続して感染症対策に取り組んでいく。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・保育者の資質向上 ・保育環境の充実 ・コロナ禍における安全管理	・個々の子どもの成長に沿ったねらいを職員同士が伝え合う事で共通意識を持ち、一人ひとりの子どもと関わる。 ・自己評価や、自園での自身の役割を客観的に見つめ課題を見つける。 ・子どもの姿や成長について保護者が理解を深める機会を持つ。 ・外部やオンライン研修、園内のミニ研修等、様々な分野の研修に積極的に参加する。 ・子どもの遊ぶ様子を見ながら、成長に沿った遊びの環境を整える事で継続的、発展的に遊べるようにする。 ・身近な自然や植物、生き物等に触れる機会を増やし、興味や関心を育てていく。 ・成長に応じて体の様々な部分を動かせるような保育内容を毎日の保育の中に取り入れる。 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から保育環境を整えると共に園児、保護者、職員の安全確保に尽力する。